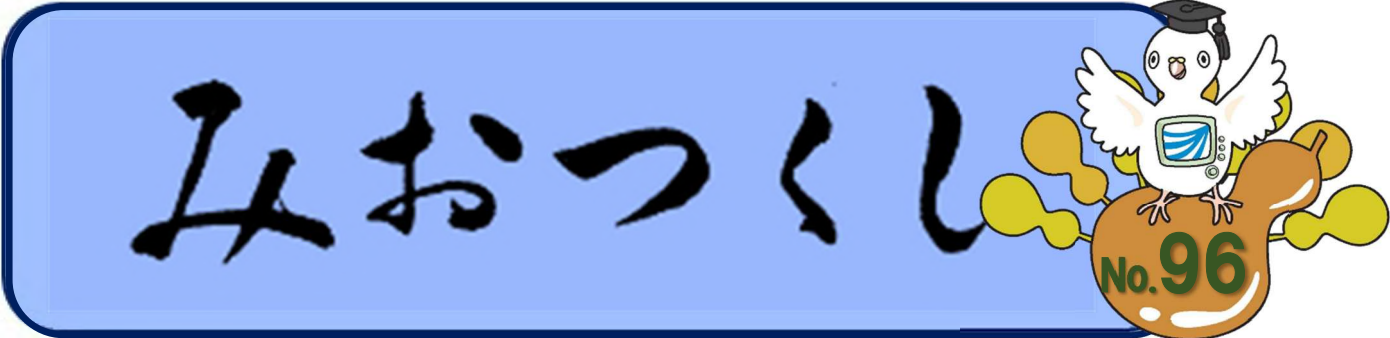




放送大学大阪学習センター 2025 年 10 月発行



金水所長講演会「大阪ことばの謎を語る」(4 ページに関連記事)

《目 次》

巻 頭 言

子どもとことば遊びと AI 1

----- 実施報告 -----

- ◆ 2025 年度第 1 学期 入学者の集い 2
- ◆ 2025 年度第 1 学期 学習支援の集い 2
- ◆ 卒業研究ガイダンス 2
- ◆ 卒研／修士チャレンジ勉強会 3
- ◆ 金水所長講演会「大阪ことばの謎を語る」 4
- ◆ システム WAKABA 講習会 4
- ◆ オープンキャンパス 5
- ◆ 2025 年度公開講座 5
- ◆ 2025 年度第 1 学期 学位記授与式 6

----- お知らせ -----

- ◆ 事務室からのお知らせ 8

【特集】大阪学友・同窓会だより 14

----- サークル紹介 -----

- ◆ 哲学対話サークル 15
- ◆ 歴史サークル 15
- ◆ 英語サークル 16
- ◆ 中国語サークル『你好』 16

巻頭言

子どもとことば遊びと AI

大阪学習センター客員教授 高橋 登



先日、ChatGPT に 30 文字くらいで回文を作ってとお願いしたら、あっという間に解説付きで作ってくれました。

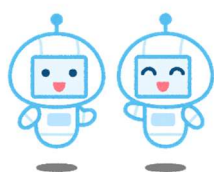
「よるにねむれぬにわとりとわにぬれむにねるよ」

解説：意味はやや幻想的ですが「夜に眠れぬ鶏と鰐、濡れむに寝るよ」というリズムで遊びました。さすが AI と思いましたが、よく見ると回文になっていません。いくつか別の AI も試してみましたが、結果は同じでした。AI はそれらしく調子の良いことを言っただけでも、人とは相当異なることをやっているのだな、と痛感した次第です。ネットから回文に関する情報をかき集めてきて、それを要領よくなぞって行くという感じでしょうか。肝心のところが分かっていないような気がします、すぐに間違いなく作れるようになって行くのかもしれませんが。そうすると、私たちも「要領よくなぞっているだけ」とか「肝心のところが分かっていない」といった印象は薄れてしまい、AI の便利さや優秀さだけを感じるようになるのでしょうか。

幼稚園児になぞなぞを出します。「川にいる妖怪ってなーんだ？」子ども：「?? ...さかな?」、「ブー。ヒント。緑色をしています。」子ども：「?」、「『か』から始まります。」子ども：「カバ!」、「ブー。頭にお皿を載せています。」子ども：「!。カップ!」、「ピンポンピンポン。」子どもとこんなやり取りをしたことがある人は多いと思います。子どもの「??」や「?」、「!」は表情も浮かんできます。子どもの頭の中は計り知れませんが、懸命に考えを巡らせていることは想像できるのではないのでしょうか。(ちなみに ChatGPT は即答してくれました。「川にいる妖怪って、なーんだ?」「カップ (河童) ! 川や池に住む日本の妖怪だね。頭のお皿と甲羅がトレードマーク。」本当に調子がいいです。)

子どもの知的な発達をアセスメントしたり、外国から来た子ども達の日本語の力を調べることを目的として、さまざまな検査が作られています。客観性を保つために、質問の仕方は厳密に定められていますが、検査によっては、子ども達に追加の質問をすることもあります。検査では、最初の質問で答えられなければ不正解となります。けれども、その後で、どこまでヒントを出したら正解にたどり着けるのか、子どもとやりとりを重ねることで、その子どもの伸びしろも見えて行こうとするのです。なぞなぞのヒントと同じです。旧ソビエトの発達心理学者であるレフ・ヴィゴツキーは、こうした「伸びしろ」に当たる部分を、発達の最近節領域と名づけました。検査は通常、子どもが過去から積み重ねてきた現在の姿を客観的に評価することを目指して作られていますが、それだけでなく、子どもの発達の明日の姿も見えて行く必要があるということなのです。

AI は本当に便利で、私も毎日利用しています。仕事は確実に効率よく進められるようになりました。逆にますます忙しくなり、自分が馬鹿になってしまったのではないかと不安になることもあります、逆戻りすることはないでしょう。また、子どもになぞなぞを出して遊んでくれる AI もすぐに出来てしまうのだろうと思います。



けれども、懸命に考える子どもの中に、私たちは AI とは異なる「人が考える」ことの大切さや価値を見出しますし、実際、子ども達はそうした営みを通じて育って行きます。また、子ども達とこうしたやり取りをすることに楽しさを感じる私たちにも、AI とは極めて異なる人間らしさがあるのではないのでしょうか。

(大阪教育大学特任教授)



2025 年度第 1 学期 入学者の集い

2025 年度第 1 学期「入学者の集い」を大阪学習センター第 1 講義室において、4 月 6 日(日)に執り行い、85 名の新入生が参加されました。

学びたい意欲に広く門戸を開いている放送大学らしく、様々な年代の者が開始を待つ中、大阪学習センター西島事務長の開式の挨拶で式典が始まり、放送大学学歌が流れ、放送大学岩永学長からのビデオメッセージが放映されました。

大阪学習センター金水所長の挨拶に続き、事務長から新入生ガイダンスとして学習センターの利用方法・学習の進め方などの説明がスライドを交えながら行われると、熱心にメモを取る学生の姿も見られました。

当日は、隣り合わせた参加者同士が挨拶を交わし、また興味深そうにサークル掲示板の前で足を止めるなど、始終大勢の参加者の高揚とした空気に満たされていました。



2025 年度第 1 学期 学習支援の集い

5 月 24 日(土) 14 時から 6 階セミナー室にて、先輩学生が新入生の学生生活をサポートする「学習支援の集い」を開催しました。大阪学友・同窓会にもご協力いただき、当日は先輩学生 4 名から参加新入生 12 名の質問に対して、在学生ならではの具体的なアドバイスがありました。学習の進め方、単位認定試験対策、今後の科目選択方法について、さらには卒業研究や認定心理士の資格取得について、様々な疑問・質問が寄せられていました。



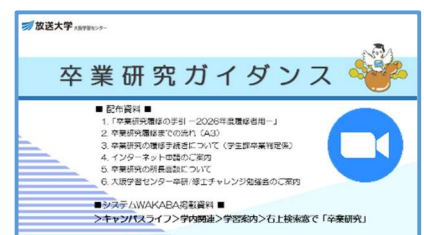
質問に答える先輩学生

また、センターでのサークル活動や、放送大学バーチャルキャンパス等の SNS の紹介を通じて、通信制大学でも学友と知り合う機会がある、学習を進めていくには学友が大きな助けとなる、との助言がありました。実際に参加者は、この集いで同じ悩みを抱えたり、同じ目標を持つ学友と出会えました。

卒業研究ガイダンス

6 月 15 日(日) 14 時から、放送大学本部と大阪学習センターとの共催で、卒業研究履修を検討している学生を対象としたガイダンスをオンライン (Zoom) で開催しました。

当日は事前申し込みされた 41 名がオンライン参加され、また 6 階セミナー室では、Zoom を視聴する学生も複数名おられました。冒頭に金水所長から、放送大学の卒業研究は放送大学では卒業のためには必修科目ではないものの、主体的に学習をすすめる大学ならではの科目であるので、ぜひ積極的に履修してほしいとの挨拶の後、学生課から履修手続きについて説明がありました。その後、本部齋藤准教授(社会と産業コース)から、卒業研究とは実際どうやってすすめていくものなのか等の詳細な説明があり、参加者からの質問には、研究テーマ設定はまずご自身の身近な疑問から絞り込むのがよい等、具体例をあげて丁寧な助言がありました。



卒研／修士チャレンジ勉強会

6月21日(土)にセミナー室にて、10時から卒業研究に興味がある学生を対象に「卒研チャレンジ勉強会」を、13時から修士課程への進学を考えておられる学生を対象に「修士チャレンジ勉強会」を開催しました。

各勉強会には16名が参加され、先輩学生3名から体験談を発表いただきました。体験談では、仕事等のバックグラウンドを生かした研究課題、様々な経験を経てきた放送大学学生ならではの個性的な研究内容や方法についてお話いただき、質疑応答では、ご自身の体験に基づく具体的なアドバイスがありました。この勉強会を通じて、参加者は、より積極的に、卒業研究や修士課程への進学を考えられるようになりました。

この勉強会は大阪学習センター独自で開催しているもので、今年度発表された先輩学生も以前にこの勉強会に参加され、チャレンジを後押ししてもらい、共に学ぶ学友に出会われました。

次年度も同時期に開催予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

～発表いただいた先輩学生（敬称略）～

■ 卒研チャレンジ勉強会 ■

お名前	コース	卒業研究タイトル
木村 歩実	心理と教育	X(旧 Twitter) 上での自殺をほのめかす投稿の目撃経験の実態調査と緊急性の判断
森 和恵	人間と文化	アベラールの生涯—12世紀前半の北フランスの社会の中で
村橋 陽三	情報	高齢者の生活を支える情報技術 ～リアルとバーチャル、広がる活動空間～

■ 修士チャレンジ勉強会 ■

お名前	プログラム	修士論文タイトル
馬殿 進路	生活健康科学	IPPG による生活環境下の脈波データ活用の可能性 —脈拍推定 precision・accuracy(ECG 基準)—
高橋 良弘	人間発達科学	看護師の卓越性がもたらす状況認識の差異とその特性
堀井 智栄子	人文学	中学生の発達を雑談に見る —会話における「役割」の観点からの分析を通して—



森 和恵 さん



木村 歩実 さん



■ 修士チャレンジ勉強会 ■

金水所長講演会「大阪ことばの謎を語る」

7月26日（土）14時から第2講義室において、金水所長による講演会を開催しました。

この講演会は、今年4月30日に出版された金水先生の著書「大阪ことばの謎」（SB新書691 ISBN：9784815624712）について、ぜひ直接に詳しくお話を聞いてみたいというサークルが発起人となり、開催されたものです。以下に発起人サークル代表からの実施報告をご紹介します。



私たちになじみの深い大阪弁は江戸時代元禄の頃から次第に形作られていき大正・昭和初期の大大阪の時代になってほぼ今の、いわゆるコテコテの大阪弁が完成しました。この変遷の過程を詳細に語っていただきました。また大阪ことばのしゃべりがなぜにぎやかで軽快なのかについて、これを大阪独自のアクセントや繰り返し表現の多用といった音韻の特徴から説明をいただきました。大阪ことばが持っている魅力を余すところなく話していただき参加者全員納得のひとときでした。

酷暑の中、約50名の来場者のもと金水所長に熱弁をふるっていただきました。

数学サークル代表 田辺 義巳



システム WAKABA 講習会

8月23日（土）14時から実習室において、システム WAKABA の操作が苦手な方のための講習会を開催しました。公認サークル「キャンパス情報倶楽部」の全科履修生 亀井 一夫さん、河原崎 信行さんにご協力いただき、参加学生4名で実施しました。参加者は、特に継続入学手続きに不安があり、講習会で面接授業の科目登録まで終えることができて安堵されていました。



協力いただいたキャンパス
情報倶楽部の学生



講習会の様子

次回は2026年2月に開催予定です。学習センターへお越しいただくというご足労をおかけすることとなりますが、操作に不安のある方はこういった機会を積極的に活用いただき、システム WAKABA の操作に慣れて、今後の学生生活にお役立てください。

なお、継続入学手続きと同時に面接授業を科目登録したい場合は、必ずシステム WAKABA から手続きをする必要があります。ご注意ください。

オープンキャンパス

7月27日(日)、8月24日(日)の2日間、2025年度第2学期入学を検討されている方のためのオープンキャンパスを開催し、計39名が参加されました。

金水所長の挨拶に続き、西島事務長から、放送大学ならではの時間や場所を問わない学び、日本



各地の学習センターやサテライトスペースの紹介、入学後の学習手段やフォロー体制など、参加者の疑問を払拭すべく予定時間一杯までスライドや資料を併用しながらの説明が続きました。

年々夏の暑さは厳しさを増し、電話や窓口での事前相談など、入学に向け様々な手段で情報を集める方も増えてましたが、「直接話を聞きたい」「実際に足を運び、大学の雰囲気を見てみたい」といった声も多く聞かれました。

2025年度公開講座

2024年度より開講し、好評を博しております大阪学習センター客員教員による公開講座は、今年度も7名の先生方から輪番で開講いただき、9月末までに次の3回(うちオープンキャンパスと同日開催2回)を実施、延べ96名の方々が参加されました。以下にそれぞれの様子を紹介します。

10月以降も、大阪府との共催事業として4講座が実施される予定(12ページ参照)で、参加費は無料です。皆さんのご参加をお待ちしております。

教育に活かす心理学

2025年7月27日(日)

高橋 登 客員教授 (大阪教育大学特任教授)



40名の方に参加いただき、我々または子供たちが勉強をするときにどうすればやる気を出せるのか、また学校の教員になるためになぜ心理学を学ばなければならないのかなど、「教育」と「心理学」の関係性について、実例を交えながら講演が行われました。

始終和気あいあいとした雰囲気に満たされた会場では、コミュニケーションを交えながら笑顔で答える先生と、積極的に質問を投げかける参加者の姿が強く印象に残りました。

「コミュニケーション」というミラを取りに行くとミラになる？

2025年8月24日(日)

榎本 剛士 客員教授 (大阪大学大学院人文学研究科教授)

※2025年10月昇任

43名に参加いただき、世間一般的な「コミュニケーション」として認識されている事項ではなく、「コミュニケーションを取ることで生じる問題について考え、それらがやがて自分自身に返ってくる影響について、実例やディスカッションを交えながら解説されました。

「物事が指す本質的な部分は何か」という問いかけに対し、自身の信念や思考を疑うことも時に必要であるといった趣旨の解説、その他参考書籍の紹介等もあり、学びを深め、非常に有意義な時間を過ごすことができたという声が多く聞かれました。



オオオニバスの巨大浮き葉に秘められた浮体構造のひみつ

2025 年 9 月 14 日（日）

小林 秀敏 客員教授（大阪大学名誉教授）



13 名参加いただき、主にオオオニバスなどの水生植物が持つ浮体構造の仕組みに焦点をあて解説されました。

「構造的工夫が浮体構造の設計に有益なヒントを与えている」と仮定し、オオオニバスの葉の浮体構造を、先生の専門分野である材料力学の観点から解説されると、参加者は過去の研究内容も踏まえたスライドを熱心に眺めながら興味深く耳を傾けていました。

2025 年度第 1 学期 大阪学習センター学位記授与式

連日の酷暑がようやく勢いをひそめ、秋の兆しを感じる天候のもと、放送大学大阪学習センターでは、2025 年第 1 学期学位記授与式を執り行い、26 名が式典に参加されました。

当日は岩永学長の祝辞に続き、金水所長から式辞が述べられ、大阪学友・同窓会代表世話人の多田 和恵様より祝辞が贈られました。その後、卒業生を代表して、名誉学生の称号を受けられた中島 学さんより心のこもった答辞が述べられました。



金水所長の祝辞

温かな空気に満たされた会場では、それぞれに学位記を授与された卒業生が、これまでの勉学の日々を振り返り、笑顔で言葉を交わし記念撮影を行う姿が印象的で、晴れやかな晴天にふさわしい一日となりました。

教養学部では全国で 2,101 名、大阪学習センターでは 106 名が卒業されました。皆さま、ご卒業誠にありがとうございます。



多田大阪学友・同窓会代表世話人の祝辞

なお、本センター卒業生のうち以下 2 名の方に、名誉学生の称号が付与されましたので、併せてご紹介いたします。

中島 学、吉岡 勝（順不同・敬称略）

卒業生代表の答辞

2025 年度第 1 学期卒業生代表 中 島 学

本日、私たち 106 名は放送大学教養学部課程を修了し、晴れて卒業の日を迎えることができました。

大阪学習センター所長 金水 敏先生をはじめ、ご来賓の皆様のご列席のもと、このように盛大な「学位記授与式」を挙げて頂き、また皆様より心のこもったご祝辞を頂戴し、有難く万感胸に迫るものを感じております。これもひとえに家族をはじめ、周囲の多くの方々の温かい励ましや支援の賜物と、心よりお礼申し上げます。

現在 74 歳の私が放送大学に入学したのは、52 歳の時でした。狭心症の手術を受け、長年吸い続けてきたタバコを止めることを決断した時、浮いた時間に何かできることはないものかと思案しておりました。そんな折、放送大学の存在を知り、それも住まいから近い大阪学習センターで学べることが分り、すぐに入学を決め、全科履修生の 3 年に編入することができました。

当時は「人間の探究」というコースがあり、このコース名にも惹かれ、「仏教思想」「自己を見つける」といった興味のある科目から勉強を始めました。

放送大学学歌の歌詞に「知ることはよろこび」とありますが、私にとって「へー、そうだったのか」「なるほど!」と驚き納得できた時には、まさに喜びと感謝の気持ちが湧いてきます。脳内ではドーパミンやセロトニンなどの幸せホルモンがたくさん分泌されているのでしょう。

「人間の探究」コースはその後「人間と文化」コースへと変わり、64 歳でようやく卒業することができました。その後も他のコースを履修し続け、転勤で他県に赴任していた 2 年間の休学を除き、これまで 20 年間お世話になりました。著名な先生方から、最新の貴重な講義をたくさん受けることができたことに感謝し、心よりお礼申し上げます。

この間、大病も経験し、視力低下もあり、今ではテキストを読むのに拡大読書器を使うようになりました。しかし、単位認定試験が Web 方式へと変わったことで、試験問題も自由に拡大して読むことができ、放送大学を長く続けられた要因の一つと感謝しております。

卒業できました 6 つのコースの中には、不合格に終わった科目もいくつかありましたが、合格した科目数は 99 に達しておりました。正直言ってその内容の多くは忘れております。しかし、そのことについては太宰治の小説「正義と微笑」の中で、中学校の先生が生徒たちへの別れの言葉として、次のように言っております。

「学問なんて、覚えると同時に忘れてしまってもいいものなんだ。けれども、全部忘れてしまっても、その勉強の訓練の底に一つかみの砂金が残っているものだ。これだ。これが貴いだ。勉強しなければいかん」と。

私もこの言葉を言い訳にしながら、これからは科目履修生として、放送大学での学習を続けたいと思っております。そして、知る喜びと感謝で幸せホルモンをたくさん出して、少しでも多くの砂金をつかんでいきたいと願っております。



最後になりましたが、お世話になりました諸先生方をはじめ、事務室の皆様に感謝するとともに、これからもお力添えいただきますようお願いし、大阪学習センターの益々の発展を祈念いたしまして、卒業の挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。





1. 2026 年 4 月から 大阪 SC 閉所日二日制がスタートします

放送大学本部においては、学習センターの学びの拠点としての効果的・効率的な運用等の在り方について検討を行っており、このたび「原則として、すべての学習センターで閉所日 2 日制を実施する」との全体方針が定められました。この方針に則り、大阪学習センターでは、2026 年 4 月から以下のとおり閉所日二日制を導入いたします。

今後も皆さまの学びの場として魅力あるセンターとなるよう、所長はじめ職員一同で努めてまいりますので、ご不便をおかけしますがご理解・ご協力をお願いいたします

なお、学習センターが閉所している際のお問合せは、メールまたは放送大学サポートセンターへお願いします。

第 1 学期	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
第 2 学期	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
スケジュール	面接授業開講期間			単位認定試験期間		
大阪 SC 閉所日	月曜日・火曜日				日曜日・月曜日	

※学習センター行事の都合で変更になる場合がありますので、センターウェブサイト
 > センタースケジュール（右 QR コード）を確認のうえ来所してください。

※大阪教育大学天王寺キャンパス内の食堂は、日曜日は営業していません。



—センター閉所時のお問合せ先—

【大阪学習センターメールアドレス】 osaka-sc@ouj.ac.jp

【放送大学学生サポートセンター】 043-276-5111

2. 「学生生活の栞」の電子化について

2026 年度から「学生生活の栞」は冊子での配布を終了し、電子形式（PDF など）で提供されます。

これにより、制度の変更など最新の情報をより早くお届けできるようになります。また、環境にも配慮した取り組みです。

詳細は今後、システム WAKABA 等で改めてお知らせされます。



3. 学割証(学校学生生徒旅客運賃割引証)の発行について

全科履修生、修士・博士全科生が生活基盤となる場所の最寄り駅から、学習センター等での面接授業受講、所属学習センターでの図書・視聴学習室利用のために「通学」する場合に発行することができます。（休学中の発行不可）

勉強会・サークル活動参加のための学割証発行はできません。また事務手続きの際、通学経路・学割発行履歴等を確認させていただいております。

学割証発行の趣旨をご理解いただき、適切な利用をお願いします。

（「学生生活の栞」128 ページ参照）

4. 学習センターの各種手続きのキャッシュレス化について

2025 年 10 月から、証明書等に係る手数料や面接授業追加登録時の授業料について、**キャッシュレス決済**を導入しました。当面は、現金でのお支払いも可能ですが、**2026 年 4 月から、各種手続きにおけるお支払いはキャッシュレス決済のみとなります。**

また、上記に伴い、2026 年度第 1 学期の面接授業追加登録から 1 科目 200 円の事務手数料を徴収することになりますので、ご承知おきください。

対象となるお支払い	
証明書等発行手数料	
学生証再発行手数料	
面接授業・ライブ Web 授業の追加登録	(授業料・事務手数料)
その他料金等預かり	(学研災保険料、郵便料など)
文献複写手数料	※窓口決済のみ

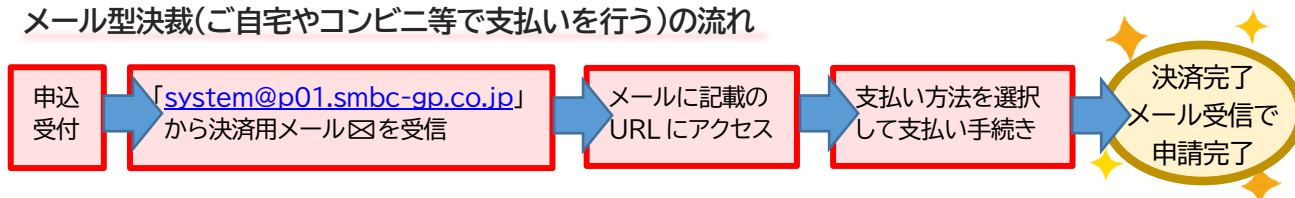


- 対応する決済方法は、窓口決済とメール決済とで異なりますので、決済時に確認してください。
- キャッシュレス決済時の「決済手数料」はかかりません。
- お支払い確定後の返金やキャンセルはできません。
(ただし、閉講等の場合の授業料は、従来通り銀行等振込により後日返金します。この場合も事務手数料は返金できません)
- 「窓口」では、**電子マネー等のチャージはできません。**
- 「メール型決済」には**決済期限があります**。期日までに手続きをお願いします。支払い完了が学習センターで確認できたら、各種手続きのお申込みが確定します。
- 「メール型決済」で「コンビニ決済」を選択いただくと、コンビニエンスストアのレジ等で**現金で**お支払いいただけます。

※2025 年 10 月現在

選 ば る 決 済 方 法	クレジットカード	電子マネー	QR コード	コンビニ
学習センター 窓 口	※タッチ対応可 VISA MasterCard JCB AMEX DINERS DISCOVER 銀聯	iD 楽天 Edy WAON nanaco QUICPay+ 交通系電子マネー (PiTaPa を除く)	PayPay au PAY d 払い メルペイ ゆうちょ Pay WeChat Pay Alipay 銀聯 (QR)	メール型決済 のご案内 になります
メール型決済 (ご自宅等)	VISA MasterCard JCB AMEX DINERS DISCOVER	d 払い au PAY	× 対応していません	ローソン ファミリーマート ミニストップ デイリーヤマザキ セイコーマート

メール型決済(ご自宅やコンビニ等で支払いを行う)の流れ



5. 2025 年度第 2 学期大阪学習センター開設 面接授業（開講日順）

	科目区分	種類	科 目 名	担当講師	開 講 日	定員
1	基盤／一般科目		新・初歩からのパソコン	野瀬 由季子	10月18日(土)・10月19日(日)	15
2	専門／心理と教育	■	心理学実験 3	宮内 哲	10月18日(土)・10月19日(日)	24
3	専門／心理と教育		心理検査法基礎実習	林 萍萍	10月18日(土)・10月19日(日)	50
4	専門／生活と福祉	☆	災害ボランティアの集団力学	渥美 公秀	10月18日(土)・10月19日(日)	80
5	専門／人間と文化		漢字学 2－新解釈と人間生活－	山田 崇仁	10月25日(土)・10月26日(日)	40
6	専門／人間と文化		日本語文学への招待	渡邊 英理	10月25日(土)・10月26日(日)	80
7	専門／心理と教育	■	心理学実験 2	遠藤 信貴	10月25日(土)・10月26日(日)	20
8	専門／心理と教育		心理検査法基礎実習	上原 依子	10月25日(土)・10月26日(日)	20
9	専門／情報	■	情報ネットワークとサービス	芝崎 順司	10月25日(土)・10月26日(日)	30
10	基盤／外国語		英語初級 2	鈴木 大介	10月29日(水)・10月30日(木)	40
11	専門／社会と産業	☆	証券投資論入門	月岡 靖智	10月30日(木)・11月06日(木)	80
12	専門／人間と文化		漢字学 2－「漢字と中国古代」－	佐藤 信弥	11月01日(土)・11月02日(日)	40
13	専門／人間と文化		日本における方言意識史	澤村 美幸	11月01日(土)・11月02日(日)	30
14	専門／心理と教育		心理学実験 3	谷口 淳一	11月01日(土)・11月02日(日)	50
15	専門／情報	■	プログラミング言語各種詰め合せ	中野 由章	11月01日(土)・11月02日(日)	30
16	専門／人間と文化	★	上方落語の世界	金水 敏	11月05日(水)・11月06日(木)	70
17	基盤／保健体育		健康づくりのための運動生理学	高木 俊	11月08日(土)・11月09日(日)	70
18	専門／心理と教育		子ども理解の発達心理学	高橋 登	11月08日(土)・11月09日(日)	80
19	専門／情報		遊びを通して学ぶ情報科学	中野 由章	11月08日(土)・11月09日(日)	40
20	基盤／外国語		中国語入門：発音と文法の基礎	八木 堅二	11月15日(土)・11月16日(日)	40
21	専門／人間と文化		コミュニケーション論入門	榎本 剛士	11月15日(土)・11月16日(日)	60
22	専門／心理と教育	■	心理学実験 1	林 萍萍	11月15日(土)・11月16日(日)	30
23	専門／人間と文化	★	現代の美術：その哲学を探究	加藤 義夫	11月22日(土)・11月23日(日)	50
24	専門／心理と教育	■	心理学実験 2	正田 悠	11月22日(土)・11月23日(日)	30
25	専門／社会と産業		経営管理論	中村 文亮	11月22日(土)・11月23日(日)	80
26	専門／自然と環境		日常生活の化学	佐藤 尚弘	11月22日(土)・11月23日(日)	40
27	基盤／保健体育		健康のためのスポーツ科学	島本 英樹	11月29日(土)・11月30日(日)	80
28	専門／心理と教育		心理検査法基礎実習	上原 依子	11月29日(土)・11月30日(日)	20
29	専門／社会と産業	★	都市のかたちと空間文化	小浦 久子	11月29日(土)・11月30日(日)	40
30	専門／自然と環境	☆	基礎から学ぼう材料力学	小林 秀敏	11月29日(土)・11月30日(日)	50
■	BYOD科目	★	学外授業を伴う科目	☆	教科書購入が必要な科目	

	科目区分	種類	科目名	担当講師	開講日	定員
31	専門／人間と文化		哲学対話を楽しむ	堀江 剛	12月06日(土)・12月07日(日)	50
32	専門／心理と教育	■	心理学実験 2	山崎 晃男	12月06日(土)・12月07日(日)	30
33	専門／自然と環境		原子核から物質の起源を探る	飯田 圭	12月06日(土)・12月07日(日)	80
34	基盤／外国語	☆	やり取りのための英語リスニング	岡田 悠佑	12月13日(土)・12月14日(日)	40
35	専門／人間と文化	★	四天王寺信仰を読み解く	一本 崇之	12月13日(土)・12月14日(日)	50
36	専門／心理と教育		心理検査法基礎実習	中島 歩 本岡 徳子	12月13日(土) 12月14日(日)	20
37	専門／生活と福祉		人生100年時代：老年医学入門	竹屋 泰	12月13日(土)・12月14日(日)	80
38	専門／人間と文化	★	能の世界を知る	中尾 薫	12月19日(金)・12月20日(土)	50
39	基盤／外国語	☆	フランス語初級（文法・表現編）	林 千宏	12月20日(土)・12月21日(日)	40
40	専門／生活と福祉		ライフサイクルと健康生活	佐藤 都也子	12月20日(土)・12月21日(日)	80
41	専門／自然と環境		微分幾何学	小林 治	12月24日(水)・12月25日(木)	50
42	専門／人間と文化	★	「文楽」を鑑賞する	天野 光	1月10日(土)・1月11日(日)	50

■ BYOD科目

★ 学外授業を伴う科目

☆ 教科書購入が必要な科目

6. 2025 年度第 2 学期大阪学習センター開設 ライブ Web 授業

	科目区分	科目名	担当講師	開講日	定員
1	専門／心理と教育	心理学実験（基礎） 【2単位科目】	橋本 京子	11月13日(木) 11月20日(木) 11月27日(木) 12月04日(木)	1-2限 30

Web 会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした授業です。学習センターではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講します。

講義資料の配布、出席登録、講義用 Zoom への入室、課題提出等はすべて専用システム（LMS）上で行います。

7. 第 2 学期面接授業「担当講師による科目紹介動画」配信のお知らせ

放送大学公式 YouTube チャンネルに、全国の学習センターの面接授業の科目紹介動画が掲載されています。

大阪学習センターからは、以下 3 科目の紹介動画をご覧ください。

- ▶ 「上方落語の世界」 金水 敏（大阪学習センター所長）
- ▶ 「基礎から学ぼう材料力学」 小林 秀敏（大阪大学名誉教授）
- ▶ 「都市のかたちと空間文化」 小浦 久子（奈良文化財研究所客員研究員）



放送大学 YouTube チャンネル
担当講師による科目紹介
動画>近畿ブロック

8. 大阪 SC 第 2 学期面接授業共修生の募集について

面接授業を聴講する方を「共修生（きょうしゅうせい）」と呼び、正規に履修する学生と共に受講いただけます。

※単位は修得できません。教養学部生で単位が必要な方は、追加登録を行ってください※

◆ 放送大学に入学していない方も、面接授業を聴講できるチャンスです

面接授業は放送大学に入学していない方も聴講可能です。スキルアップや生涯学習の場として、知識・教養の向上のため、受講を検討してみませんか？

◆ 単位修得済みの在学学生、大学院生も聴講可能です

単位修得済み科目の復習のため、また大学院生が聴講のためなどで、共修生制度を利用可能です。

◆ 受講料は、1 科目につき 6,000 円、空席のある面接授業が対象です

興味のある方は、大阪学習センターへ電話でお問合せください。



放送大学面接授業ウェブ
サイト 2 学期 > 共修生募集

9. 公開講座の実施予定

10 月以降に開講予定の公開講座は以下のとおりです。

受付は先着順で、参加費無料、事前予約が必要です。お申込みは、センターウェブサイトですぐ受け付けています。インターネット環境のない方はお電話でも承ります。皆様のご参加をお待ちしております。

詳しくは、センターウェブサイト（QR コード：大阪学習センター「HOME」→「この学習センターについて」→「公開講演会・オープンキャンパス」）にて確認してください。



開催日時	講演タイトル・要旨	講師
2025/11/15 (土) 14:00 - 15:30	近現代経済史のなかのカフカ 「判決」「変身」「城」「訴訟（審判）」などで知られる作家フランツ・カフカ（1883 - 1924）は、19 世紀末から 20 世紀前半欧州の社会・経済における巨大な変化のなかで生きた。その生涯から、第一次グローバリゼーション、第二次産業革命、戦時統制経済、天文学的インフレといった近現代経済史の展開を追う。	客員教授 ばんざわ あゆむ 鳩澤 歩
2025/12/6 (土) 14:00 - 15:30	現代文学が開く世界 一近年の芥川賞受賞作から一 1935 年に菊池寛によって始められた芥川賞。同賞は、現在でも多くの注目を集め、最も社会的影響力のある文学賞のひとつです。受賞作は、その時代を代表する文学作品として認められると同時に、その時代状況を映し出し、その社会を描き出すとともに、時代や社会に反応し批評する機能ももっています。近年の芥川賞作品を時代や社会との関係から読み解き、その思想の内実について考えてみたいと思います。	客員教授 わたなべ えり 渡邊 英理
2026/2/1 (日) 15:15 - 16:45	健康について考える WHO 憲章では「健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない」と定義されています。人生 100 年時代、日本は世界的な長寿国となっています。長く生きていくことは、それだけ病気になることも多く、高齢社会はみんなが病気をもって生きていく社会とも言えます。病気をもって健康に生きていくとは、どのような生き方なのか、考えてみたいと思います。	客員教授 さとう つやこ 佐藤 都也子
2026/2/21 (土) 15:15 - 16:45	高齢者の複雑性と老年医学 高齢者は病気だけでなく、加齢に伴う身体的・精神的・社会的機能低下などが加わって生活機能の低下を引き起こします。高齢者の病態は極めて複雑で、この複雑性に対する対応方法は老年医学のみならず、現代医学全体の大きな課題となっています。本講演では高齢者の複雑性と最新の老年医学についてお話いたします。	客員教授 たけや やすし 竹屋 泰

10. 勉強会の実施予定

大阪学習センターでは、定期的に客員教員による勉強会を開講しています。
受付は先着順で、参加費無料、事前予約が必要です。お申し込みはセンターウェブサイトから、毎月20日から翌月分をますが、インターネット環境のない方はお電話でも承ります。

詳しくはセンターウェブサイト（QRコード：大阪学習センター→「HOME」→「スケジュール・授業案内」→「勉強会について」）で確認してください。



実施時間		90分	120分					
10月	土	10:00～	13:00～	15:30～	日	10:00～	13:00～	15:30～
	4				5			
	11	佐藤 都也子	佐藤 尚弘	小林 秀敏	12			
	18		ばん澤 歩	渡邊 英理	19			綿村 英一郎
	25				26		小林 治	
11月	土	10:00～	13:00～	15:30～	日	10:00～	13:00～	15:30～
	1				2			
	8	佐藤 都也子	佐藤 尚弘	小林 秀敏	9			
	15			渡邊 英理	16			綿村 英一郎
	22				23	安留 誠吾	小林 治	
12月	土	10:00～	13:00～	15:30～	日	10:00～	13:00～	15:30～
	6				7			
	13	佐藤 都也子	佐藤 尚弘	小林 秀敏	14			
	20		ばん澤 歩		21			綿村 英一郎
	27		小林 治		28			
2月	土	10:00～	13:00～	15:30～	日	10:00～	13:00～	15:30～
					1			
	7				8			綿村 英一郎
	14	佐藤 都也子	佐藤 尚弘	小林 秀敏	15			
	21		ばん澤 歩	渡邊 英理	22	安留 誠吾	小林 治	
	28							
3月	土	10:00～	13:00～	15:30～	日	10:00～	13:00～	15:30～
					1			
	7				8			
	14	佐藤 都也子	佐藤 尚弘	小林 秀敏	15			綿村 英一郎
	21		ばん澤 歩	渡邊 英理	22	安留 誠吾	小林 治	
	28							

客員教員	専門分野	勉強会タイトル
堀江 剛	哲学・倫理学	哲学対話を楽しむ
渡邊 英理	近現代日本語文学	夏目漱石を読む
林 晃大	行政法	環境保護について考える —環境法の視点から—
鳩澤 歩	経済史・経営史	グローバル経済史をドイツから読む
綿村 英一郎	社会心理学・法と心理学	集団の心を読み解く —心理学で学ぶ人と人のつながり—
小林 治	微分幾何学	数学の話題あれこれ
小林 秀敏	材料力学(衝撃工学&植物バイオメカニクス)	固体力学アラカルト
佐藤 尚弘	化学(高分子化学)	ノーベル化学賞と日常生活
佐藤 都也子	看護学	“生きる”を支える看護の実践と科学
安留 誠吾	情報工学	情報ってなに

【特集】大阪学友・同窓会だより



★卒業祝賀懇親会を開催しました★

9月28日にささやかながら、卒業祝賀懇親会を開催しました。ありがとうございます。
2026年春も皆様に参加できる形式で卒業祝賀懇親会の開催ができるよう準備をすすめています。卒業が決定された方には大阪学習センターからのお知らせに同封するとともに、大阪学習センターの掲示板でお知らせします。

★放大河堀祭のご報告★

10月13日（月・祝）に放大河堀祭が開催され、大阪学友・同窓会でも「ビブリオバトル2025」を出展し、盛会となりました。ご参加いただいた皆様、関係者の皆様には心より御礼申し上げます。来年も出展できるよう準備をしたいと考えております。



★年度末楽しもう会開催予定です★

昨冬に引き続き、今冬に年度末楽しもう会を2026年（令和8年）の1月下旬～2月頃に開催予定です。決まりましたら当会ホームページ・大阪学習センター内掲示板でお知らせします。会員でない学生の方も歓迎します。

★バッジ（まなぴー・シンボルマーク）スタンプ帳 web 頒布中★

学習センター事務室のご協力により大阪学習センター窓口にもスタンプが配備されています。大阪学友・同窓会がスタンプ帳を作成しました。再開した他センターの面接授業のお供にぜひどうぞ。

放送大学同窓会連合会が作成したバッジ（まなぴー・シンボルマーク）も併せて取扱いしております。各500円です。大阪学友・同窓会のホームページからお申し込みください。

なお、放送大学同窓会連合会制作のTシャツについては取り扱いを検討中です。

今後バッジは値上げを予定しています。お早めにお求めください。

★世話人（役員）大募集！ 卒業されていない方も歓迎です★

本会運営を担う世話人（役員）を募集しています。イベント企画・PC事務作業・Wixを使ったホームページ更新などをしてみたい方、ぜひご連絡をお待ちしております。また、世話人会の見学は大歓迎です。ぜひお待ちしております。

※基本的には会員のみですが非会員の方も一度ご相談ください。会員も募集中です。

【文責：大阪学友・同窓会副代表世話人（みおつくし担当） 古川 徹】

大阪学友・同窓会の情報は、随時ホームページ（右QRコード）、
～<https://oujosakagd.wixsite.com/oujogd>「大阪学友同窓会」で検索～
学習センター掲示板で提供しております。

連絡先：oujosakadousoukai@gmail.com



サークル紹介

大阪学習センターでは、18 のサークルが活発な活動を行っています。今回は、そのうち 4 サークルの活動内容をご紹介します。



哲学対話サークル

てつがく対話しませんか？

その日、その場に集まった人たちが、決めたテーマについて、自由に対等な立場で語り合う場です。哲学の知識は一切不要！対話を通じて、ものごとの理解を深めたり、新しい言葉や視点に出会ったり。参加者の年齢層は20代～70代、参加人数は毎月20人前後。発言せず対話を聴いているだけでもOK。興味のある方は、ぜひ当日、教室にお越しください！

祝 2025 春
公認サークルへ!!



【文責：代表 全科履修生 藤田 靖】

歴史サークル

歴史サークルは、平成 10 (1998) 年、疎遠になりがちな学生間の親睦と交流を図り、併せて日本史の探究を通じて先人たちの偉業の足跡を辿ることにより、近年失われつつある 日本人としての誇りを今一度考えようとして先輩諸氏によって創設されました。創部当時のメンバーは 5 名で、意見の相違から激論を交わすこともあったそうです。次第にメンバーも増え、会員、賛助会員を併せて 100 名を超えるサークルに成長したそうです。

しかし、会員の高齢化とコロナ禍により、会員数も激減し、活動を休止していました。一時は廃部も検討しましたが、以前から実施している月一回の勉強会と、歴史ハイキングを継続していきたいと考え、コロナ明けの令和 5 (2023) 年度より再開しました。

勉強会はテレビ等の歴史番組鑑賞が中心ですが、会員の得意分野の発表の場となることも多々あります。また専門家をお招きして講演していただくこともあります。

歴史ハイキングでは、大阪近郊の寺社、遺跡、史跡などを歩くことがメインです。個人ではなかなか行きにくい場所に行くことも多いです。

なお初代会長上田敏夫氏は「みおつくし」の 44 号から 81 号まで 37 回にわたり「歴史の散歩道」と題し、大阪中心の町案内を連載されてました。一昨年の河堀祭で展示しましたが、今なお参照できる第一級の町歩き資料です。



【文責：代表 全科履修生 西澤 一晃】

英語サークル

英語を勉強しようという人が集まっているのが当サークルです。毎月、原則として第 1、第 3 土曜の午後に活動しています。活動内容としては、ふたつあります。

ひとつは Zoom（パソコンまたはスマホ）を使っている活動です（第 1 土曜日）。もともとは学習センターで活動していたのですが、コロナ禍で対面での活動ができなくなり、やむを得ずこの方式を採用したのがきっかけです。このやり方だと遠方に住んでいる人や身体的に移動が難しい人にも役立ちます。それぞれメンバーは、毎回ネット送信された資料を辞書やインターネットなどを駆使して日本語に訳読していきます。テキストとして最近では英米の論説文がよく使われています。また、短編小説を読むこともあります。皆さん、活動日までにいろいろと予習をしてくるのですが、なかなか手強い文が多く四苦八苦しています。英語の実力は皆それぞれで、わからないところは皆で教え合っています。（というとカッコいいですが、実際のところは、皆でああでもないこうでもないと言い合って結局、よくわからんなあ、で落ち着くことがよくあります。）

二つ目の活動は学習センターでの対面です（第 3 土曜日）。この時にはアドバイザーとしてイギリス人の方に参加していただいています。日常の身の回りで起こったできごとや調べたことについて発表します。なかなか口に出して人前で話すのが不得手な人は、書いてきたものを読んでもかまいません。皆さんいろいろと工夫を凝らして発表しています。発表できなくても、人の話に耳を傾け、質問したり意見を述べたりする参加方法もあります。

メンバーによっては、第 1 または第 3 土曜のみ参加している人もいます。いずれにしても、あくまでサークル活動であって学校の授業ではないので、人と比較することもないし、ましてや成績がつくわけでもありません。気軽に楽しく仲間を作って学習していくのがモットー（？）だと思っております。

【文責：代表 全科履修生 佐分利 義和】



中国語サークル『你好』

中国語サークルは 1996 年の創立以来 29 年間にわたり、中国語の学習を通じて会員同士の親睦を深め、日中文化の相互理解を促進することを目的に活動を続けてまいりました。

この間、中国語学習を取り巻く環境は時代の変化とともに大きく様変わりし、コロナ禍という困難な時期も経験しましたが、私たちは一貫して「楽しく学ぶ」を合言葉に、中国語の習得に励んできました。

現在は月 2 回、主に日曜日に初級班と中級班の二班体制で活動しています。

（初級班：12 時 30 分～14 時／中級班：14 時 15 分～15 時 45 分）

活動内容は、中国語ネイティブの講師による授業です。

講師は、以前は中国からの留学生にお願いしていましたが、現在は中国東北地方ご出身の李老師にご担当いただいています。李老師は長年日本に在住され、大学や民間の語学学校でも教鞭をとられている、経験豊富なプロの中国語講師です。

勉強会は以下のように進行します。

まず、李老師を交えてのフリートークで、最近の出来事などを気軽におしゃべりします。李老師からは、適宜語句やフレーズの解説、中国の現状などもご紹介いただきます。

その後、初級班では放送大学のテキスト「中国語Ⅰ（'23）」に沿って学習を進め、中級班では講師が用意したプリント教材（例：“学一门外语需要理由吗？”＝「外国語を学ぶのに理由は必要ですか？」）などを用いて学習します。全体を通して、初級・中級ともに「話す・聞く」に重点を置いた実践的な内容で、講師のお人柄も相まって、笑いの絶えない楽しい勉強会となっています。

活動参加費は、勉強会 1 回につき 1,000 円を頂戴しております。入会金や年会費は不要です。

ご興味のある方は、ぜひ一度勉強会の様子をご見学ください（見学は無料です）。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【文責：代表 選科履修生 河本 史昭】





編集・発行 放送大学 大阪学習センター

〒543-0054 大阪府大阪市天王寺区南河堀町 4-88

(大阪教育大学天王寺キャンパス内)

電話:06-6773-6328/FAX:06-6773-6322

ウェブサイト:<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/osaka/>



放送大学
大阪学習センター